

## 第 159 回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会 開催概要

1) 開会挨拶 (5分/ 10:00-10:05)

2) 看護師関連シンポジウム (90分/ 10:05-11:35)

(日本専門医機構基本領域専門医更新のための臨床検査領域講習に申請予定)

「輸血・細胞治療における看護師のタスクシフト・シェアの実際」

看護師のタスクシフト・シェアに相当する自施設の実践例について

目的・内容：タスクシフト・シェアという言葉自体の認識が以前よりも高まっていることを踏まえて、様々な施設でどのように落とし込んで実践しているのかを紹介してもらうことで、今後の看護師のタスクシフト・シェアの発展に寄与する

座長：猪越 ひろむ（看護師 千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

野崎 昭人（医師 横浜市立大学附属市民総合医療センター 輸血部）

シンポジスト：

- ① 中野恵美 手術室（看護師 東京都立墨東病院 手術室）
- ② 佐藤孝子 移植コーディネーター（看護師 東京医科大学病院 看護部/血液内科）
- ③ 谷口千賀子 透析室（看護師 東葛クリニック病院 看護部）
- ④ 石井修 輸血学会 I&A 視察員（看護師 国立病院機構相模原病院 看護部）

指定討論：

- ① 杉本達哉（臨床検査技師 東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科輸血室）  
臨床検査技師の立場から
- ② 佐藤智彦（医師 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部）  
輸血部医師の立場から

総合討論：指定討論での質問/シンポジストが回答：座長の先生方からコメント

3) 昼休憩 55分/ 11:35-12:30

4) 一般演題（募集中 8演題程度） (80分/ 12:30-13:50)

【一般演題】発表時間とテーマ：口演 6分、質疑 3分、テーマは自由

- 5) 細胞治療シンポジウム (80分/ 14:00-15:20)  
(日本専門医機構基本領域専門医更新のための臨床検査領域講習に申請予定)  
「細胞治療の安全性と有効性を支える臨床検査技師」  
幹細胞採取に関する臨床検査と CD34 測定  
座長：原口京子 (都立駒込病院 輸血・細胞治療科)  
名倉 豊 (東京大学医学部附属病院 輸血部)  
シンポジスト：  
①石橋小百合 (都立駒込病院 輸血・細胞治療科)  
②原 順一 (山梨大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)  
③常名政弘 (東京大学医学部附属病院 検査部)
- 総合討論: 各病院の検査と細胞治療業務(採取における流れ, 採取時期の設定, CD34 測定の現状など) の状況をディスカッションする  
輸血部門で検査, 細胞治療業務への臨床検査技師の役割など.
- 6) 休憩 20分/ 15:20-15:40
- 7) 旭化成メディカル スポンサーセミナー (60分/15:40-16:40)  
目的・内容：輸血部医師・臨床検査技師・看護師の皆様方への自己由来フィブリン糊・クリオシールシステムの周知, 紹介  
座長：奥田誠 (東邦大学医療センター大森病院 輸血部)  
講演1：橋本陽子 (三井記念病院 臨床検査部 輸血検査室) 20～25分  
講演2：府川正儀 (虎の門病院輸血・細胞治療部) 35～40分
- 8) 特別講演 (60分/16:50-17:50)  
(日本専門医機構基本領域専門医更新のための臨床検査領域講習に申請予定)  
東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 准教授 正本 庸介先生  
急性骨髄性白血病に関する治療の最前線
- 9) 閉会挨拶 (10分/17:50-18:00)